

設計図書等に対する質問・回答

令和6年5月20日

入札参加者 各位

公立大学法人尾道市立大学
理事長 荒井 貴史
(事務局 総務課)

設計図書等に関し質問のあった事項について、次の通り回答します。

工事名：(仮称)尾道市立大学附属図書館建設工事

No.	質問事項	回答
1-1	S-21 柱状改良コラムについて、個別の掘削長が不明です リストか分布図を提供いただけますでしょうか。	S-05、2特記事項 S-06柱状図 S-26特記事項による。 設計時点では別図(S-07)のとおり見込んでいる。
1-2	A-特-01 浸透性吸水防止剤(セラミクリートガード工法)の 上塗りは、Siクリヤー仕上とFクリヤー仕上、どちらで見込 めばよろしいでしょうか。	Siクリヤーとする。
1-3	A-特-06 複層仕上塗材Eの仕様がゆず肌状・吹付けとなっ ていますが、ゆず肌状の場合ローラー塗りになり、吹付けの場合 凹凸状となります。どちらの仕様とすればよろしいでしょうか。	ローラー塗りに、ゆず肌とする。
1-4	A-03他 階段裏の塗装について、EPとEP-Gの表記があります。 どちらを正とすればよろしいでしょうか。	壁、柱はEP-G 天井(上げ裏)はEPとする。
1-5	A-53 屋上設備目隠しのALCの塗装は、外部面のみでよろしい でしょうか。	A-53 D-04のとおり全面とする。

2-1	S-02 1階床のスラブの打継補強は、5-6梁上端の増打ちではなく、7-7土間スラブの打継補強の考え方でよろしいでしょうか。	よい。
2-2	S-08、S-21 S-08図では柱内にもスターラップがありますが、S-21のように柱内はなしでよろしいでしょうか。	梁勝ちの関係となる箇所 (Y1・Y8/X2 Y2・Y7/X1・X8)は柱内へスターラップを設ける。
2-3	S-08 柱フープ筋ですが、地中梁の部分については在来のフープで、地中梁より下の部分についても図示の通り、同ピッチでよろしいでしょうか。	よい。
2-4	S-10 CS1の方向は間違いと考えてよろしいでしょうか。またCS1Aの範囲は開口部廻りだけでなく、スパン全体の考えでよろしいでしょうか。(別図4-①)	よい。
2-5	S-21 最上階柱筋が梁への定着L2を満たしていません。柱と同径の定着用かご筋で確保してもよろしいでしょうか。(別図5-①)	よい。
2-6	S-17 VSの梁への定着ですが、梁幅が広いため直筋でL2を確保できませんが、図のようにアンカーでのみ込みしたほうがよろしいでしょうか。また下筋の定着もL3ではなくL2としたほうがよいでしょうか。(別図6-①)	質疑の通りとする。
2-7	S-17 VS配筋でD13@200(端部1/4区間は@100とする)の端部1/4区間とはどの範囲と解釈すればよろしいでしょうか。別図7-②のAの範囲と考えてよろしいでしょうか。B部分も必要でしょうか。(別図7-①②)	A・B部両方ですが、ボイドスラブ主方向のB部は不要。(別図の上下側)
2-8	S-09、S-19 梁主筋がD19とD25のものが隣り合っていて、圧接ができません。 <2F Y1通：G7A(D19)とG3B(D25)> 重ね継ぎ手にしますとC2柱内で梁主筋が密集し、互いの空き寸法が取れなくなると思われます。D19をD22にサイズアップして圧接する方法にしてもよろしいでしょうか。	よい。

